

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	雑餉隈駅周辺における安心で快適な交通環境の形成			
計画期間	平成30年度～令和02年度（3年間）			全体事業費	12,587百万円	国費率	0.55	
交付期間	平成30年度～令和02年度（3年間）	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	12,587百万円	国費率	0.55	
1) 事業の実施状況	対象事業	要素事業名						
		A.地方道整備事業	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)					
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
	その他関連する事業							
	進捗状況	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(R04年度末予定)		
		A.地方道整備事業	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)		連続立体交差事業:1.86km		整備中	
B.関連社会資本整備事業								
C.効果促進事業								
その他関連する事業								
2) 事業の効果発現状況	指標名・算定式		当初現況値(H30年当初)	目標値(R04末)	実績値(R02末)	目標値と実績値に差が出た要因		
	成果目標の達成状況		緊急対策踏切の解消率(%) = (対策済み踏切箇所数) / (要素事業の緊急対策踏切箇所数) × 100	0%	100%	0%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和3年度から個別補助へ移行し、3か年の計画となったため	
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況(定性的な効果)				-			
	関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況(定性的な効果)				-			
3) その他	今後の事業予定等		・引き続き国の個別補助制度を活用しつつ、令和7年度の事業完了に向け、事業の進捗を図る。					

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

雑餉隈駅周辺における安心で快適な交通環境の形成

事業の目的	成果指標・算定式	当初現況値 (H30年当初)	目標値 (R04末)	実績値 (R02末)	目標値と実績値に差が出た要因
雑餉隈駅周辺は、踏切遮断時における交通渋滞や、踏切事故などへの対策が必要であるとともに、鉄道により分断されている地域の一体化が求められている。 雑餉隈駅周辺の鉄道を高架化することで、交通渋滞や踏切事故の解消、分断された周辺市街地の一体化を図り、市民が安全で快適に生活できる都市環境の形成を図る。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を確保するとともに、駅へのアクセス性の向上や公共交通の利用促進を図る。	緊急対策踏切の解消率(%)=(対策済み踏切箇所数)/(要素事業の緊急対策踏切箇所数)×100	0%	100%	0%	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、令和3年度から個別補助へ移行し、3か年の計画となったため



整備前



(一部)整備後

西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)

区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	R02年度末での 供用状況
					H30	R01	R02	R03	R04		
A. 地方道路整備事業	2-A1	街路	西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)	連続立体交差事業: 1.86km						12,587	整備中
B. 関連社会資本整備事業				なし							
C. 効果促進事業				なし							
その他関連する事業				なし							

主な事業効果	・令和4年8月の高架切替に向け、高架橋工事等の進捗が図られた。
--------	---------------------------------

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。